

第18回 ちゅうでん教育振興助成（平成30年度）

報告書資料 一般 - 72

学校名・団体名	伊勢市立東大淀小学校
コース	学校支援
活動・研究のテーマ	くすのき学習で育てる地域を語れる子ども

1. 活動の意義

本校のシンボルである樹齢105年のクスノキの巨木「くすのきさん」について四季の変化や特性を自然科学的、体系的に学習すること、校区の遺跡や歴史について見学や実物に触れながら体験することを通して、今まで知っているようで知らなかった「くすのきさん」をはじめとする学校・地域の自然や歴史について学び、地域の良さや課題を自分のこととして考えることができた。

2. 「くすのきさん」について、自然科学的にアプローチする

～環境省・アクティブレジャーとのコラボ授業～

子どもたちが校庭のクスノキとあらためて向き合い、クスノキの植物的特性や四季の変化を自然科学的に学習することをねらいとして、4年生対象に年5回の「くすのき学習」を行った。毎回、環境省のアクティブレジャー（自然保護官補佐）および自然公園指導員を講師に迎え、校庭で実際にクスノキの枝や葉を手に取りながら、専門的な指導を受けた。

- | | | | |
|-----|-----|--------|----------------------|
| 第1回 | 5月 | 春のクスノキ | 花の様子・背の高さ・幹周りの大きさ |
| 第2回 | 7月 | 夏のクスノキ | におい・葉の様子・くすのきに集まる生き物 |
| 第3回 | 10月 | 秋のクスノキ | 実、葉の様子と寿命 |
| 第4回 | 12月 | 冬のクスノキ | 葉（常緑樹）の様子・くすのきの仲間 |
| 第5回 | 1月 | まとめ | くすのきさんを守るためにできること |

子どもたちは巨大ものさしやタタキ網など特別な道具を使うことで、普段の理科学習にはないワクワク感を楽しんでいた。また授業の終わりには必ずふり返りを行い、子どもたちの気づきから次の課題を設定するようにした。

★くすのきさんの幹の周りの長さを最初は身体尺で測り、次にメジャーで測ったら、約6mだとわかりました。高さは巨大ものさしで測ったらだいたい15mでした。次は葉っぱの数を調べたいです。

★葉っぱだけでなく、枝や幹の皮のにおいも調べました。においの正体は「しょうのう」でした。

★神社でクスノキの仲間の木を探しました。タブノキは、葉っぱのにおいで仲間とわかりました。

(活動の様子) ①春

②夏

③冬



3. 校区にも古墳や遺跡があった ～齋宮歴史博物館とのコラボ授業～

大堀川を境に本校区と隣接する多気郡明和町には中大淀・山大淀といった地名があり、東大淀とは古来より関係が深いと言われている。その明和町にあり県の埋蔵文化財センターを併設する齋宮歴史博物館に出かけたり出前講座を受けたりして、校区の歴史に関するコラボ授業を行った。

「東大淀にも遺跡や古墳があった」をテーマにした授業では、校区の地図で遺跡があった場所を確認したり土器に触れる体験を行ったりした。校区に14もの遺跡・古墳があったことや学校の砂場から土器が出土したことを知り、子どもたちは驚いていた。また様々な形・模様土器に触れたり観察したりして、本物に触れる楽しさを実感することができた。

★校区に古墳があったり、学校の砂場から土器が出土したりしたことがわかった。こんなにも近くに遺跡や古墳があると知ってびっくりしたし、昔の東大淀のことをもっと知りたいと思いました。

★土器に縄でつけたような模様があり、触ってみたら、ざらざらしていました。本物に触ることができて嬉しかったです。



左：実物の土器にふれる体験



右：校区の遺跡・古墳マップ

4. 新聞で発信 ～調べたこと・学んだことを新聞で地域に発信～

新聞は子どもたちが体験や交流で得た学びを地域に発信するために、有効な手段である。必修クラブの1つである新聞クラブでは、学校の行事や地域の人への取材を中心に「大好き♡くすのきさん」新聞を発行している。取材の良さは、「そこでしか・その人にしか」聞けない言葉や事実を聞くことができることである。たとえば取材で聞いた「昔のくすのきさんは幹の皮がツルツルしていた。」の言葉から、皮がツルツルになるほどたくさんの子どもたちが幹に触ったりよじ登ったりして遊んでいた様子を知ることができた。取材で得られる確かな言葉や事実は、文章を書くときの自信となり、思考力や表現力の向上につながっている。

希望者を対象にした夏休み新聞教室では、東大淀町に伝わる祇園祭の様子や歴史について子ども記者が見学取材し、「大好き♡くすのきさん」新聞にまとめて地域に発信した。参加した子どもたちからは「東大淀に住んでいるけど、初めて祇園祭に参加した。」「柏町の伝統行事についても調べてみたい。」などの感想があった。また地域の人たちからは、「子どもらの新聞を楽しみにしとるんやわ。」との声を聞くことができた。



5. 成果と課題

- 成果**
- 子どもたちがクスノキや地域のことについてよく知るようになり、話題にすることが増えた。
 - 取材や新聞づくり活動を通して、子どもたちの表現力・発信力・言語能力が向上した。
 - 新聞を通して地域に発信することにより、地域が元気になり学校との絆が深まった。

- 課題**
- 「くすのきさん」や東大淀地区の自然や歴史、産業について、いろいろな方向からのアプローチを行い、子どもたちが地域のことをよく知り、地域について自信をもって語れるようにしたい。
 - いろいろな発信方法を工夫し、子どもたちの学びをさらなる地域の活性化につなげたい。